

スタートアップセミナー2021
2021年4月15日

オープニング

IVIスタートアップセミナー ～2021年度事業概要～

市 本 秀 則

IVI代表幹事(マツダ株式会社)

“人・現場”が主体となって日本の製造業の高度化を目指し、企業の垣根を超えた“つながる化”のための場を提供

■ 2015年6月設立（2016年6月から一般社団法人）

■ 理事長 西岡靖之（法政大学）

■ 会員 758名（2021年3月24日現在）

正会員：大企業84社、中小企業76社

サポート会員：大企業30社、中小企業52社

実装会員：6社、賛助会員：16団体、

個人会員：5名、学術会員：23名（合計262社／団体）

■ キーワード つながる工場、ゆるやかな標準

ウェブサイト（日・英） <https://iv-i.org/>



4月 スタートアップセミナー

6月 総会、サマーカンファレンス

10月 公開シンポジウム-Autumn

12月 ウィンターカンファレンス

3月 公開シンポジウム-Spring



- 業務シナリオWGにおいて、他社の困りごとや共通の課題を探りたい。・・・業務シナリオWG
- デジタル化が進まない社内で、ボトムアップな手法を取り込みたい。・・・配信型ワークショップ
- 先進的な技術の動向や活用の現実を、現場視点で見極めたい。・・・先進研究分科会
- 自社のツールやソリューションを、製造業のニーズの側から検証したい。・・・実装シナリオWG
- 自社の製品やサービスにオープンなプラットフォームの視点を加味したい。・・・タスクフォース
- スマートシンキングやデータ連携ツールについて、より具体的に知りたい。・・・チュートリアルセミナー



当法人は、ものづくりとIT(情報技術)の融合による新しい製造業のプラットフォームのために必要となる共通基盤を構築することを目的とし、次の事業を行う。

- (1)ものづくり競争力強化のための各種教育・研修
- (2)ものづくり業務改革のための基盤技術の研究と支援
- (3)ものづくりとIT(情報技術)が融合したビジネスシナリオの研究
- (4)ゆるやかな標準化のためのリファレンスモデルの開発
- (5)IoT(モノのインターネット)を活用したプラットフォームのための標準化の提案
- (6)会員相互の支援、交流、連絡その他共有する利益をはかる活動
- (7)前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

(IVI定款第3条より)



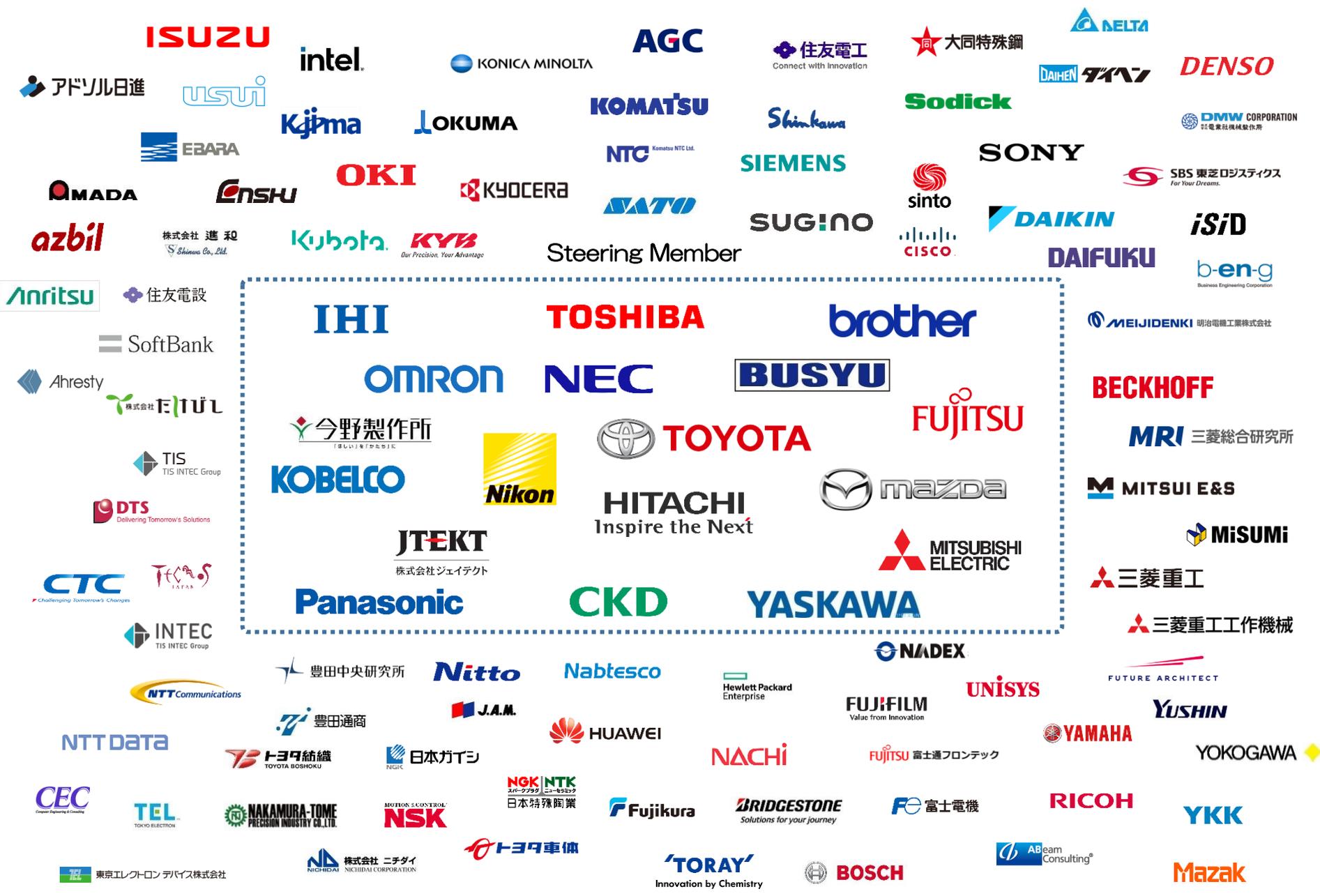
VISION

デジタル社会の中で、ものづくりの現場が中核となったボトムアップな価値形成のしくみを強化し、つながるものづくりとして相互に連携したより柔軟でかつ高付加価値なしくみとするために、地域や海外も含めた場を提供するとともに、それを実現させるための理論、手法、ツール、そして標準を提供する。

MISSION

- ボトムアップなアプローチによる“つながるものづくり”のためのエコシステムを作る。
- ゆるやかな標準を共有するしくみにより、ものづくりの知識やノウハウを価値にする。
- オープンとクローズのバランスの中で協調と競争のためのルールづくりに貢献する。







Charter 1

協調領域の拡大と場の提供

Charter 2

現場起点のボトムアップ連携

Charter 3

個を活かす“ゆるやかな標準”



ローギア

最初の3年(2015年～2018年)

- ドイツ、欧米の取組事例を学ぶ
- コンセプトと危機意識を共有する
- IoTによるデジタル化の意味を知る
- 企業を超えた場で協調領域を見つける
- ボトムアップなつながる化の手法を学ぶ



セカンドギア

次の3年(2018年～2021年)

- 共通辞書を整備しユーザが活用する
- プラットフォーム間でデータがつながる
- 革新型テストベットの実証が活発化
- 中小企業、地域のネットワーク化が進む
- つながるためのツールを開発し準備する



We are here



トップギア

さらなる展開(2021年～)

- スマートシンキングが本格的普及
- データ駆動型インフラとして展開
- 中小企業を中心につながる化が加速
- 連携企業の対象を海外企業にも展開
- 業務シナリオが蓄積されネットワーク効果
- サービス化、製造業以外へ展開



イニシアティブ全開！



3つの委員会によるIVI活動

■ 新規事業

ビジネス連携委員会

IVIアワード



業務シナリオWG

IVIリーダー



シナリオポジトリ

ソリューション認定

配信型ワークショップ

ITマイスター

総合企画委員会

ASGアワード

地域アワード

先進研究分科会

エバンジェリスト

地域セミナー

オープン標準化

ニュースレター

指導者育成セミナー

教育普及委員会

中小企業”本気”サイト

地域ネットワーク



チュートリアルセミナー



- 配信型ワークショップ
 - 業務シナリオWGの会合に出席できない社内メンバーを集め、事業所内でワークショップを行います。特に現場を離れるのが難しい担当者が参加を可能とします。
- 中小企業“本気”サイト(仮称)
 - 中小企業のデジタル化の現実に深く入り込んで取材し、その困りごとや新しい取り組みに関する“本気”をレポートします。“普通”のものづくり企業がターゲットです。
- 3つのタスクフォース
 - IVRA(データモデル)、CIOF(データ流通)に加え、新たに企業内のデータ連携のためのPSLXを追加し、実際のツールとシステム基盤に展開し、業務シナリオを実装から運用につなげる技術的なしくみを提供します。



- PSLXタスクフォース（企業内連携）
 - 製造業の社内の業務連携のために共通辞書を設定し、個別に異なる業務アプリがデータでつながるようにするためのしくみを議論し、実証実験等を企画する。
- CIOFタスクフォース（企業間連携）
 - 企業間でデータを取引する際に、契約をベースとしたデータ流通のしくみを用いてサービス連携を可能とするための実装技術を議論しシステム実装を図る。
- IVRAタスクフォース（国際連携）
 - 製造業のアーキテクチャーの参照モデルを、海外の動向などをフォローしつつ、日本独自の提案を、スマートシンキングやIVRAなどとして議論し提案する。

PSLX : Product and Service Lifecycle Transformation

CIOF : Connected Industries Open Framework

IVRA : Industrial Value Chain Reference Architecture

(C) 2021. Industrial Value Chain Initiative



3つのタスクフォースによる技術開発



ボトムアップなツール

製造ノウハウのデータ取引環境整備

ものづくりITアセットの集約とマッチング

地域の中小企業

PSLX

IVRA

ものづくり国際標準

地方拠点とのネットワークと展開

スマートシンキングの普及と啓発

ITカイゼン、IoT実践の事例ベース化

CIOF

オントロジーと辞書管理方式の標準化

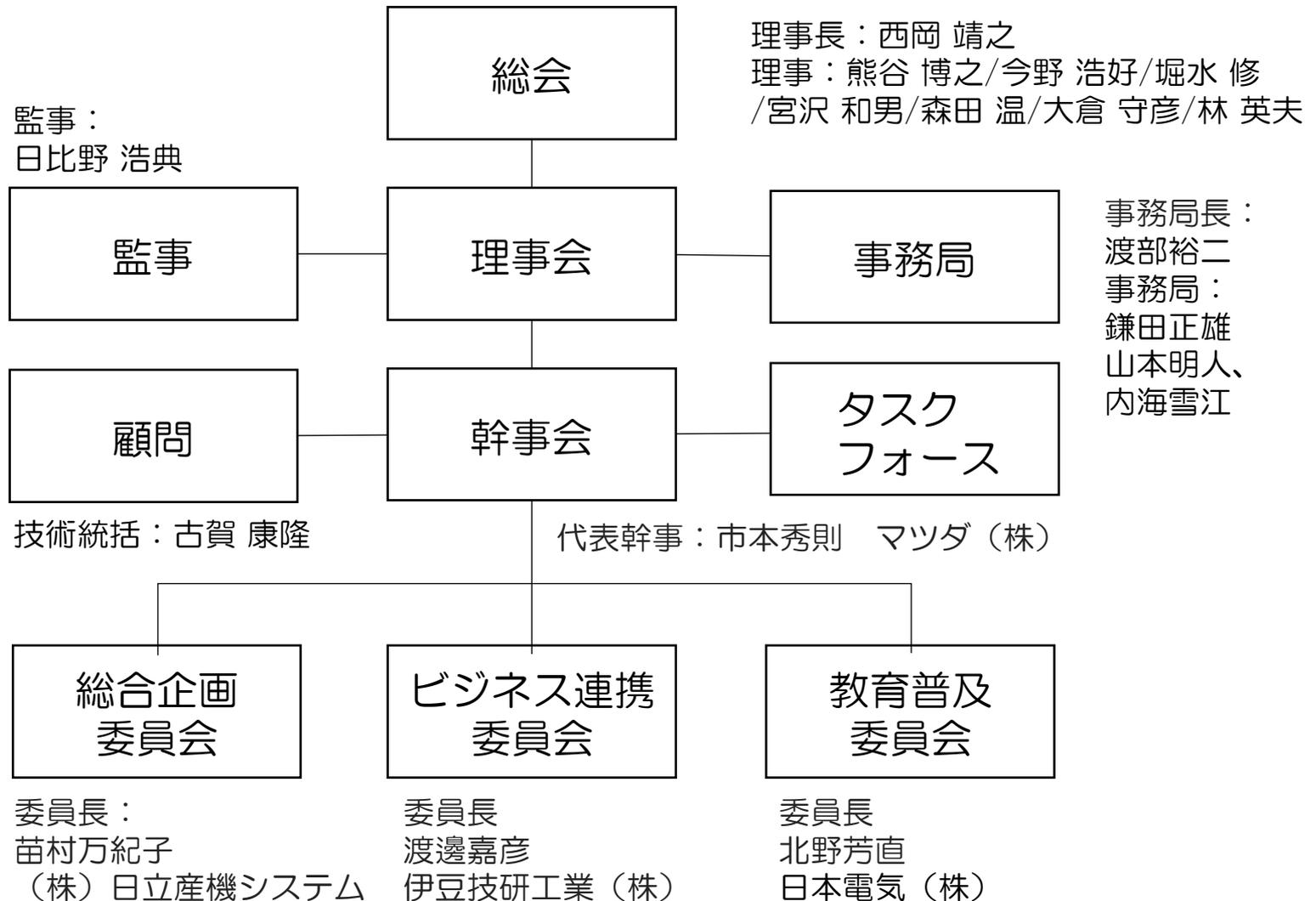
辞書の整備による企業間、地域間連携

アジア拠点との連携強化、グローバル化

海外とのつながる化



組織構成



IVIのDNA

その1. やってみてから考える

その2. まずは現場に行ってみる

その3. 意見をもって仲間を増やす



2021年度スタートアップセミナー

ご静聴ありがとうございました。

